



声援を送る、これがスポーツの姿ではないかと私は考えています。

とはいえ、近年の夏の暑さは、昔とは比べものにならない程で、スポーツをする場合も熱中症などに注意しなければならぬと思っ

ていますので、冷房設備の必要性も感じます。しかし、現在の体育館は冷房設備の設置を考慮していない構造のため、設置するのに膨大な経費が必要となります。残念ながら、厳しい財政状況では、要望されている冷房設備の設置はできません。

今後、暑いときは、十分なものではありませんが、換気ファンで送風を行っていきます。また、既存の施設設備の補修工事などを施行していき、少しでも利用する方々に喜ばれる施設となるように努めてまいります。

まちづくりに関する手紙



手紙 電柱の地中化を促進してほしい。日本は欧米と比べても、地中化が遅れていますし、街の美観のことを考えると一刻も早く進めていただきたい。ラグーナ蒲郡は地中化され、とてもスッキリしており、空がとても広く感じるほどです。



回答 電線類（電柱、電話線など）の地中化については、景観面のほか、防災面でも優れていますが、かなりの費用がかかります。概算費用は、1kmで約3億円から5億円、完成後の管理費用も通常よりかかります。

ラグーナ蒲郡地区と駅南区画整理地区は、行政や電線類事業者で組織された電線類地中化中部ブロック会議で「電線類地中化の認定」を受けました。この認定を受けますと、電線類の事業者（中電、NTTなど）が費用の約1/10程度を負担します。残りの費用は、民間施行であれば民間の負担となり、市の管轄であれば市の負担となります。

介護に関する手紙



このことから、ラグーナ蒲郡地区については、行政管轄以外は蒲郡海洋開発(株)が費用負担をし、駅南区画整理地区については市が負担しています。

費用・管理の面から、他の地区の電線類地中化は、なかなか進められないのが現状です。



手紙 痴ほう性高齢者が、昼間は施設、夜は自宅で生活することができるような「宅老所」を、公立・私立、なんでもよいので、検討実現できないものでしょうか。



回答 国においては、平成12年度からスタートした介護保険制度を、施行後5年目を目処として、今年度中に制度全般に関する検討を加え、その結果に基づき必要な見直しを行うこととしています。

「市長への手紙」の期間は終了しましたが、ふれあいファクスやEメールで、随時、皆さんからの声を受け付けています。

ふれあいファクス
FAX 66 1192
Eメール
info@city.gamagori.lg.jp

<問合せ先>
秘書課広報広聴担当 66 1145

見直し論の中には、「介護予防の推進」「痴ほうケアの推進」「地域ケアへの展開」を新たな課題としての取り組みが求められています。また、「在宅サービス」「施設サービス」の他に「通い」「泊まり」「訪問」「居住」などの機能を組み合わせさせた「小規模・多機能型」サービスも考えられています。

これからの介護保険制度の改正で、内容が具体的に示されてくるものと思います。その改正内容を調査しながら、ご提案についても貴重な意見として受け止めさせていただきます。今後の高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画の策定において、「宅老所」などの施設について研究・検討していきたいと思います。